

『第4回大和川下流部大規模氾濫に関する減災対策協議会』開催

H30.7.30

～大規模水害に対して、近畿最大の大都市圏への影響を
最小限にする取組を推進～



水防災意識社会
再構築ビジョン

大和川下流部では、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」の再構築を目的に、平成28年度に沿川8市、水防事務組合、大阪府、国が「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく取組方針を策定し、減災対策に取り組んでいます。

今回の協議会では、各機関が平成29年度に実施した取組内容を報告し、情報共有しました。今後も関係機関で連携しながら取組を進めていくことを確認しました。

委員の方の主な発言

- 多機関連携型タイムラインの作成を目的とせず、地域住民が適切・安全に避難できるように関係機関と意見交換を行い、相互理解を深めていくことが必要。
- 河道内の樹木は、洪水時に流水の阻害となる恐れがあるため、樹木伐採をお願いしたい。
- H30年7月豪雨では、川の中にゴミがたまり支川で道路冠水する事例が生じた。大和川本川でも具体的に被害を少なくする取組を進めて頂きたい。

概要

- 日時：平成30年7月30日（月）
14:00～15:10
- 会場：柏原市立市民プラザ6階
大会議室
- 構成員：14名（代理含む）

協議会の構成メンバー

構成員	氏名
大阪市長	吉村 洋文
堺市長	竹山 修身
八尾市長	田中 誠太
松原市長	澤井 宏文
柏原市長	富宅 正浩
羽曳野市長	北川 嗣雄
藤井寺市長	國下 和男
東大阪市長	野田 義和
大和川右岸水防事務組合事務局長	山下 克己
大阪府都市整備部事業管理室長	谷口 友英
大阪府都市整備部河川室長	武井 義孝
大阪府政策企画部危機管理室長	佐藤 広章
気象庁大阪管区气象台長	竹内 義明
近畿地方整備局大和川河川事務所長	大呑 智正

減災のための取組



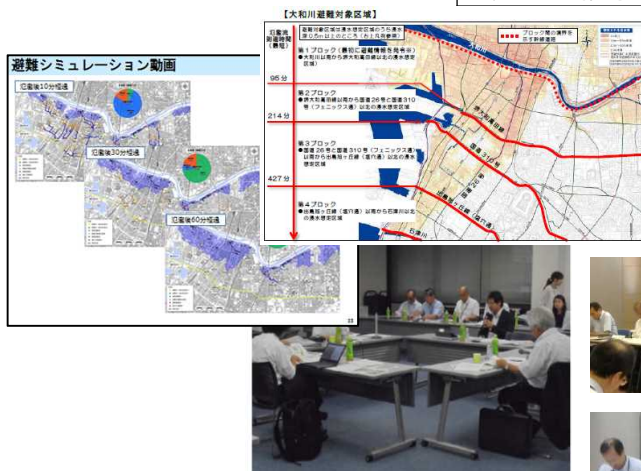
八尾市総合防災訓練



関係機関が連携した
実働水防訓練の実施



水災害意識啓発の広報



避難シミュレーションの実施、住民とのリスク
コミュニケーションの実施など

出席者の様子



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所 調査課

〒583-0001 大阪府藤井寺市川北3-8-33 TEL 072-971-1381